

August

8

2025

No. 752

金山の夏がきた



広報かねやま

KANEYAMA



7月13日、マルコの蔵西蔵で「かねやま昭和ミニレトロ館」のオープニングイベントが開催され、町内外から約200名が来場しました。このイベントは、令和5年12月22日に役場町民ホールで行われた模擬議会で、当時新庄南金山校1年生だった星川伶紅さんが「若者の地元離れを防ぐため、若者と昭和生まれの方々が交流できる場をつくりたい」という思いから提案した企画で、町議会の後押しや、コレクターの長倉春喜さん（荒屋）のご協力のもと、開催が実現しました。

オープニングイベントは青空市が同時開催され、じゃんけん大会や昔懐かしい揚げパン、瓶コーラをはじめ、地域おこし協力隊や金山校地域探求サークルによる駄菓子つかみ取りや射的、けん玉やベーゴマなどの遊び体験コーナーが設置され、子どもや親子連れで賑わいました。

レトロ館の展示は10月31日まで予定しています。皆さんのご来場をお待ちしております。

懐かしの昭和を楽しむ
レトロ館オープニングイベント

かねやま昭和ミニレトロ館



- ① 来場者で賑わうマルコの蔵前広場
- ②③ 昭和ミニレトロ館の展示（一部）
- ④ トヨタ初代ハイラックスの前で記念写真を撮る子供たち
- ⑤⑥⑦ レトロゲームや菓子を楽しむ子供たち



④



⑤



⑥



②



③



ながくら はるき 春喜さん（荒屋）

レトロ館の開催に尽力
コレクション三百点を提供

幼少期の頃から車やプラモデル作りに熱中し、初めて購入した車がスカイラインのケンとメリーでした。その頃から車だけではなく古いデザインに魅力を感じるようになり、少しずつ収集を始め今日に至ります。一部の紹介ではありますが、知っている人は懐かしさを、知らない人は新鮮さを感じていただけたら幸いです。

August
8
2025
No.752

広報かねやま

KANEYAMA

8月行事予定表

2 (土)	プレベビーマッサージ
5 (火)	心配ごと相談 乳児健診
6 (水)	すこやか相談 就学時健診 読み聞かせ・お話会
8 (金)	金山校みらいサポート町民会議
14 (木)	金山まつり宵まつり 金山町二十歳を祝う会
15 (金)	金山まつり本まつり
19 (火)	1歳児・2歳児歯科健診
20 (水)	すこやか相談
22 (金)	人間ドック・総合健診・健診結果説明会
23 (土)	マタニティ教室
25 (月)	心配ごと相談 心の健康相談 農業委員会総会
28 (木)	子宮頸がん・乳がん検診 ベビーマッサージ・ママケア教室 離乳食講座
29 (金)	健診結果説明会

7/22-8/21 明るいやまがた夏の安全県民運動
8/30-9/5 防災週間

目次

- P3 かねやま昭和ミニレトロ館
- P4 かねやまステップジャンボ
- P6 フラワーコネクション事業
- P8 消防操法大会
- P10 まちのわだい
- P12 町政NEWS
- P14 お知らせ掲示板
- P16 防災コラム・ほっとクリニック
わたしと金山
- P18 図書室だより・地域おこし協力隊通信
東京金山会通信・ぶんげい
- P20 かねやま未来図

今月の表紙

7月5日、地域おこし協力隊の太友淳さんと、澤野美香さんが主体となり実施しているダムサップの受入れが開始しました。初心者や子供でも楽しむことができるダムサップの体験期間は9月28日までです。詳しくは公式サイトをご確認ください。

公式サイトはこちら



教育長室から

ウェルビーイングを目指して



教育長
須藤 信一

不登校の増加が大きな課題となつてから、長らく増加傾向が続いています。当町でも、全国的な傾向と同様の状況が続いています。

こうした中で、第7次山形県教育振興計画が、4月からスタートしました。目標には、「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」とあります。ウェルビーイングというのは、身体的、精神的、社会的に良い状態にあることをいいます。そして、目指す社会として、異なる立場や考え、価値観を持った人々が豊かに生き活きと暮らす中で、①子どもは、学校の中でだけでなく、社会の中で交流し、ワクワク感を持って自ら選択し学び合っている。②大人・家庭は、互いを尊重する姿を見せ、子どもの試行錯誤を見守り、挑戦できる環境をつくっている。③地域等は、一人ひとりの違いや個性を認め、それぞれに応じた多様な学びの場や安全・安心な環境を提供している。と、示されています。

不登校の個々の状況を見ると、その要因も含めて実に様々です。さらには、要因も一つだけでなく、複合的なものも多々見られます。前述の目指す社会が実現されれば、不登校の解消に向けて大きく前進していくのではないかと思います。ウェルビーイングを目指し、暮らしやすい環境づくりをみんなで進めていきたいと思います。



①有限会社柳田電子工業外観
②③作業の様子

健康づくりに向けた取り組み

有限会社柳田電子工業では、職員の健康づくりに向けた取り組みとして年1回の健康診断を実施しています。これにより、職場全体の健康意識を高め、より良い労働環境を整えることを目指しています。

代表取締役 やなぎだ たかひろ
柳田 隆広



07 参加事業所からのメッセージ 有限会社柳田電子工業



社員の健康が企業の持続的な成長の柱になると考え、ステップジャンボ事業に参加しました。ステップジャンボ事業では毎週抽選が行われるため、健康づくりに対する意識の向上にも繋がります。社員同士の交流を深め、運動習慣を定着させる良い機会となっています。健康づくりを推進することにより、取り組みを通じて、職場全体の健康意識を高め、より活力ある職場環境を作っています。

下3桁一致でジャンボ賞当選！ ディズニーペアチケットを獲得

▲アキレスエアロン(株)泉屋さん(左)、菊地取締役店長(右)

5月分ジャンボ賞の抽選の結果、アキレスエアロン株式会社の泉屋真由美さんが見事、ディズニーペアチケットに当選しました。泉屋さんは「チケットが当選してとても嬉しいです。毎週当選番号が発表されるので歩くモチベーションになっています」と喜びを語りました。また、菊地政行取締役店長は「毎日6,000歩以上歩く意識づけをし、会社全体で健康づくりに向けた取り組みを続けていきたい」と、今後の健康促進への想いを語りました。

かねやま ステップジャンボ!!

金山町 × SEGA XD

金山町では5月2日から「かねやまステップジャンボ事業」をスタートし、国の推奨は1日8,000歩を歩くことですが、この事業では町の現状に合わせ、1日6,000歩を目標としています。この事業は宝くじのような仕組みで景品がもらえるウォーキング推進事業であり、町内の事業所と連携して実施しています。

【問合せ】 役場健康福祉課 健康係 ☎29-5624

まめ知識

ウォーキングは比較的簡単に行える運動ですが、カロリー消費にも効果的です。体重や歩く速度にもよりますが、30分のウォーキングで約100～150kcalを消費することができます。

※体重によって消費するカロリーは異なります



①金山ケミテック株式会社外観
②ストレッチ体操の様子
③工場周辺の清掃活動の様子

健康づくりに向けた取り組み

- ①定期健康診断
- ②特殊健康診断
- ③AM・PMストレッチタイムの導入
- ④夏季クーリングルームの設置
- ⑤年次有給休暇の取得推進
- ⑥工場周辺定期清掃活動

取締役工場長 さいとう かずや
斉藤 和也



08 参加事業所からのメッセージ 金山ケミテック株式会社

健康は個人の幸福と社会全体の持続可能な発展にとって不可欠な要素です。ストレスの増加、運動不足などが原因で、生活習慣病や精神的な健康問題が増加しています。より良い生活の質を実現するためには地域や職場、家庭を挙げて積極的な健康づくりの取り組みが必要と考えます。今回「かねやまステップジャンボ事業」に参加し、作業中の歩行や積極的に体を動かすことが毎週抽選の楽しみとなり、社員同士の交流と運動習慣の定着に繋がっていると思います。



①金山農業協同組合外観
②町内ゴミ拾いの様子
③朝礼の様子

健康づくりに向けた取り組み

- ①定期健康診断の実施
- ②メンタルヘルス対策
- ③保健師・管理栄養士による保健指導
- ④町内のゴミ拾い活動
- ⑤朝礼での健康管理への声掛け

代表理事組合長 にしんや
岸 新也



当農協が取り組んでいる健康づくりは、定期健康診断やメンタルヘルス対策を実施し、職員の心身の健康を促進することを目的としています。希望者は、保健師・管理栄養士による個人指導をしていただき、目標を立てて健康づくりに取り組んでいます。また、毎年、町内のゴミ拾いを3コースに分かれて実施し、地域貢献活動と健康づくりを組み合わせる健康増進に繋がっています。これからも健康管理を心がけていただき、活気ある職場づくりに取り組んでいきたいと思っています。

06 参加事業所からのメッセージ 金山農業協同組合





6月23日、24日にボランティア4名が参加し、植栽地の農村環境改善センター前緑地、大堰公園休憩所前緑地、金山中学校花壇、金山亭脇県道沿い花壇のメンテナンス作業を行いました。



フラワーコネクション事業

FLOUR CONNECTION PROJECT

①6月24日、農村環境改善センターで実施された植栽整備に参加されたボランティアの皆さんと、ガーデナーの青木真理子さん、グリーンカームハウスの皆さん ②金山町農村改善センター前緑地 ③④ボランティア活動の様子。終始笑顔が見られました。⑤アスチルベ ⑥スタキスモニエリ ⑦ネペタ ブルドリーム ⑧町制施行100周年の記念品として配布したミニバラは、春から晩秋まで四季咲きます。蕾が開花した際は、玄関前に飾り、お楽しみください。



ボランティア募集中

フラワーコネクション事業にご協力いただけるボランティアを随時募集しています。興味のある方は役場環境整備課 建設・景観係にお電話ください。

【内 容】 植栽地のメンテナンス等
※令和7年度は視察研修を予定
【報 酬】 1,000円／月
【問合せ】 役場環境整備課 建設・景観係
☎29-5628



⑨風景と調和する大堰公園休憩所前緑地 ⑩金山中学校前花壇は秋にアスターの花が見頃を迎えます。 ⑪金山亭脇県道沿い花壇にはアスチルベやスタキスモニエリなど色鮮やかな草花が植えられています。



⑦ 広報かねやま 2025.8

金山町の美しい景観を彩る 宿根草の魅力

植栽は金山町の自然の風景に調和するように、宿根草（多年草）を中心に選定されています。植栽の成長は2年目を迎え、多年草は大きく育ち、見応えがあります。植栽の特徴として、花だけでなく様々な植物が織りなす季節の移ろいを感じること

令和5年度からスタートした「金山町フラワーコネクションプロジェクト事業」。本事業は、景観施策に新しく「花」という要素を加え、自然・景観・観光・人を花（flower）で繋げ（connection）、町民運動へつながる事業への展開を目的とし、全国的に有名なガーデンデザイナー青木真理子さん（長井市）に植栽コーディネートをお願いし、金山町農村改善センター前緑地、大堰公園休憩所前緑地、十日町地内花壇（金山亭脇県道沿い花壇）、金山中学校花壇の植栽を行いました。

昨年度からフラワーコネクションプロジェクト事業ではボランティアを募集し、女性の方々を中心に7名の皆様にご協力いただきながら、日頃の植栽地のメンテナンスを行い、フラワーコネクション事業を進めてきました。

ができます。個々の植物の開花期は長くはありませんが、季節ごとに表情を変え、早春から晩秋まで途切れることなく様々な植物が咲き、季節の魅力を楽しむことができる植栽地となっています。

また、個々の植物の生育サイクルや形状、香り、好んで集まる虫の種類も異なるため、様々な視点から楽しむことができます。折り重なる季節と年月と共に変化するガーデンは、持続可能な地域づくりの一環として、長く皆様に楽しんでいただければと思います。

メンテナンス作業では、ガーデンデザイナーの青木氏や管理を委託しているグリーンカームハウスの作業員、ボランティアの方々が一緒に作業を行い、宿根草の育て方やガーデニングに関する専門的なお話を交えながら交流を深めています。



広報かねやま 2025.8

⑥



消防操法大会

6月29日、旧中央公民館駐車場で金山町消防団の操法技術と統制力を披露する消防操法大会が行われ小型ポンプ操法に17の部、班が出場しました。大会結果は下記のとおりです。



【部別】

- 第1位：第1分団 第2部（七日町）
- 第2位：第4分団 第1部（荒屋）
- 第3位：第7分団 第1部 第2班（柳原）
- 第4位：第9分団 第1部 第3班（片貝）
- 第5位：第9分団 第1部（松の木・中下）
- 第6位：第4分団 第2部（三枝）

【最優秀分団】

- 第4分団（荒屋・三枝）

【個人賞】

- 指揮者：阿部 辰紀（第2分団第1部）
- 1番員：山科 翔（第1分団第2部）
- 阿部 福巳（第4分団第1部）
- 阿部 悠（第7分団第1部第2班）
- 大山 康明（第9分団第1部）
- 星川 紘己（第9分団第1部第3班）
- 阿部 良太（第3分団第2部）
- 2番員：半田 睦（第7分団第1部第2班）
- 小沼 慶悟（第9分団第1部第2班）
- 須藤 昭博（第9分団第1部第2班）
- 3番員：青柳 昭博（第9分団第1部第2班）

【特別表彰】

- ※個人賞3回受賞
- 大山 悠（第7分団第1部第2班）

金山町の魅力を発見 金小4年生が蔵史館で抹茶体験

6月27日、蔵史館で金山町の魅力を発見するための総合学習会が行われ、金山小学校4年生の児童37名が参加しました。総合学習事業ではボランティア団体「蔵の会」から8名の方にご協力いただき、抹茶体験をしました。抹茶体験に参加した4年生の丹修一さん(荒屋)は「お茶をたてるのは少しだけ難しかったです。お菓子は甘くておいしかったけど、抹茶は苦くて大人の味がしました」と話してくれました。



GIRO DI YAMAGATA 2025 町内外から約250名が来場

6月14日、県内をめぐるラリーイベントGIRO DI YAMAGATA 2025が、かねがね川崎恭平代表取締役のコーディネートと、町と町観光協会の後援のもとで開催され、首都圏や北海道などから46台、約100名の参加がありました。十日町通りをメイン会場に車の展示が行われ、世界的に有名なクラシックカーと街並みが調和した風景で観客を魅了しました。イベントでは抽選会やゲームが行われ、見学に訪れた子どもたちにはミニカーが配られました。



▲「BENTLEY Mark-VI HALSE SPECIAL」と同世代の中沼昌子さん(96歳)



モルックを通じて交流の輪 最上広域身体障害者スポーツ大会

7月8日、金山町農村環境改善センターで最上広域身体障害者スポーツ大会が開催されました。最上広域身体障害者福祉協会連合会が主催となって開催されるこの大会は第48回目の開催を迎え、最上管内から8団体約80名が参加しました。参加者たちはモルックを笑顔で楽しみながら、日頃の成果を存分に発揮し交流を深めていました。



東京金山会第66回総会 ふるさとを語る集いが開催

6月15日、アートホテル日暮里ラングウッド(東京都)で東京金山会総会が開催され、130名が出席しました。また、永山茂樹さん(金山町)、タレントで俳優の多田裕也さんと多田有希さん(金山町出身)、國分さえ子・リリィさんによるステージパフォーマンスが披露された他100周年記念映像の上映や金山製品の販売ブースも出展し会場は大いに盛り上がりしました。



まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報・DX推進係
☎29-5601

町内の美化に取り組む白岩土木建築 公園地の草刈り作業を実施



7月4日、白岩土木建築株式会社が白山神社周辺の公園地のボランティア活動を実施しました。ボランティアには約30名が参加し、公園地の草刈り作業を行いました。活動に参加された土田善弘さん(稲沢)は「この活動は町の景観を守るために20年以上前から続けています。町民の皆さんが安心して暮らせるように活動を続けていきたいです」と活動に対する想いを語ってくださいました。白岩土木建築株式会社の皆様、誠にありがとうございました。



社会を明るくする運動 保護司が町長へメッセージを伝達



▲メッセージを伝達した保護司会の皆さんと佐藤町長

7月1日から7月31日にかけて「第75回社会を明るくする運動」が実施されました。犯罪のない社会を目指すこの取り組みに先駆け、7月1日には金山町保護司の星川忠一さん、三上重光さん、栗田一直さん、柴田久子さん、藤山一栄さんが来庁し、佐藤英司町長に対して運動への協力依頼と内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。

地区中学総体野球が開催 金山中野球部優勝



▲左から阿部大輝さん、天口晴太さん、青柳太郎さん

6月14日と15日の2日間、最上地区中学校体育大会が開催され、新庄市民球場で行われた軟式野球競技で、金山中学校・真室川中学校・鮎川中学校の合同チームが見事に優勝を果たし、県中学総体出場を決めました。合同チームでの努力と経験を積み重ね、3人で挑んだ大会。「優勝に貢献できて嬉しかった。県大会で優勝して東北大会に行きたい」と3人が口を揃えて次の舞台を見据えていました。今後の活躍を期待します。

地域を支える星川建設 カーブミラー清掃と山車小屋設置を実施



7月1日、星川建設株式会社が町内のボランティア活動を実施しました。ボランティアには15名が参加し、町内のカーブミラー清掃と十日町若連の山車小屋の設置が行われました。活動に参加された小野裕太郎さん(山崎)は「ドライバーの皆さんが少しでも見やすく安全に走行出来るように精一杯カーブミラーを清掃しました」と活動に対する想いを語ってくださいました。星川建設株式会社の皆様、誠にありがとうございました。



災害対応のシミュレーション訓練を実施 町職員の防災スキルを向上



▲金山町危機管理演習の様子

6月23日、役場町民ホールで令和7年度金山町危機管理演習が開催され、佐藤英司町長、小関啓幹副町長、須藤信一教育長の他、役場職員35名が参加しました。はじめに令和6年度の豪雨災害の振り返りが行われ、災害対応の良かった点、今後の課題点が共有されました。その後、対策本部、情報提供担当、避難所担当、災害廃棄物担当などに分かれテーマ別の訓練を実施し、災害発生時の動きや職員の配置、事前に準備が必要な課題点が検討されました。

三枝地区の防災力を高める 災害時の備えを考える日



▲町防災士3名による講話の様子

7月6日、三枝地区で自主防災組織による防災訓練が行われ、町内の防災士3名を講師に招き、災害時の心構えや避難時の対処方法、救急救命について学びました。参加者の中には、「帰ったら家族にも伝えたい」とメモを取りながら参加する方もおり、三枝地区全体で防災力を高めた1日となりました。この日は、三枝地区の河川清掃や公園の草刈り、モルック大会、懇親会なども開催され、約120人が交流を深めました。

オンライン申請サービスを導入します

今年度、町では公式LINEを使った対話型オンライン申請サービス（Gov Tech Express）を導入します。対話型とは、案内に沿って回答していくと手続きが完了する仕組みで、難しい操作は不要です。また、マイナンバーカードを使った本人認証、手数料のクレジットカード、ペイペイ支払機能を合わせて導入しますので各種証明書の請求など役場に行かなくても、申請手続きが可能になります。軽微な手続きについては8月頃、証明書の請求などは10月頃に公開予定ですので、ぜひご活用ください。※一部申請はパソコンからの申請に対応する予定です。

【問合せ】 役場総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

オンライン申請対応手続き（予定）

- ・各種証明書（本人名義の住民票、各種税証明）の請求
 - ・軽微な補助金申請（紙の資料提出が必要ないもの）
 - ・給付金の受取手続き
 - ・各種相談の予約、窓口（来庁）予約
 - ・奨学金関係の届出 など
- ※導入検討中の手続きを含みます。

オンライン申請イメージ▶



まちおこし塾 塾生募集

町の地域活性化と人材育成を目的に、住民参加の「まちおこし塾」を開催します。町の課題を明確にし、課題解決のための事業（プロジェクト）を考え、町の資源をともに掘り起こしてみよう。塾では、班分けしてディスカッション方式で検討・議論を行います。最終的に町に対して、事業提案を行い各班の案を評価し実施モデルを選定します。

【日 に ち】 第1講・・・10月3日（金）・4日（土） 第2講・・・10月17日（金）・18日（土）
第3講・・・11月7日（金）・8日（土） 第4講・・・11月21日（金）・22日（土）

【時 間】 金曜日開催の場合・・・9時～16時 土曜日開催の場合・・・9時～12時

【会 場】 役場2階町民ホール

【募集人数】 10名程度

【対 象】 ①18歳以上の金山町民で、4回の講義を続けて受講可能な方。
②リモート受講が可能な東京金山会会員の方。

【募集期間】 令和7年9月10日（水）まで電話または直接お申込ください。
※申込用紙は、町HPからのダウンロードが可能です。

【問 合 せ】 役場総合政策課 政策推進係 ☎29-5602

受講料
無 料

戸籍に氏名の振り仮名を記載する制度がはじまりました

これまで氏名の振り仮名は戸籍に記載されておらず、法律上の根拠がありませんでしたが、改正法の施行により令和7年5月26日から戸籍の記載事項に、新たに記載されることになりました。

詳しくは、
法務省ホームページを
ご覧ください▼



【振り仮名が記載されるまで】

- ① 本籍地からの通知を確認（令和7年5月26日以降、本籍地市区町村から順次発送）
※本籍地が金山町の方は7月末から8月上旬頃に順次発送予定
- ② 記載の仮の振り仮名が正しいか、違っているか確認してください
※仮の振り仮名は住民票に便宜上登録されている振り仮名の情報などを参考にしています。
※通知は原則、同じ戸籍で同じ住所の人を単位として送付されます。

振り仮名が正しい場合	届出は不要です。 ・令和8年5月26日以降に順次、通知された振り仮名が戸籍に記載されます。
振り仮名が違っている場合	「氏名の振り仮名の届出」が必要です。 ・令和8年5月25日まで 届出をすることができます。 ・役場町民税務課窓口へお越しいただくか、マイナポータルからオンラインで届出をしてください。

【問合せ】 役場町民税務課 住民係 ☎29-5611

金山町盆踊り大会の開催について

金山まつりの開催にあわせて、今年度も下記のとおり盆踊り大会を実施いたします。申込み不要で、どなたでも参加できますので、ご家族やお友達をお誘いのうえ、ご参加ください。

【日にち】 8月15日（金）

【時 間】 19時～

【場 所】 フルーツほしかわ前

※勝手にカラオケ大会会場前

※雨天時は、金山町農村環境改善センター
多目的ホールで実施いたします。

【曲 目】 金山小唄、花笠音頭

【問合せ】 金山町芸術文化協会事務局

☎52-2902



防災 コラム



8月26日は「火山防災の日」 火山について知ってみよう

活動火山対策特別措置法に基づき、国民の皆さんに活火山対策についての関心と理解を深めていただくため、毎年8月26日を「火山防災の日」と定めています。この日は、明治44年（1911年）に日本で最初の火山観測所が浅間山に設置され、観測が始まった歴史の日でもあります。火山観測の重要性が認識されるようになったこの日を通じて、私たちの周囲に存在する活火山について改めて考えてみましょう。

「身近には活火山がないから心配する必要はない」そう考えている方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、県内には、鳥海山、肘折、蔵王山、吾妻山といった活火山があり、これらの山々は観光名所としても知られ、多くの人々が訪れています。火山は美しい自然の一部であると同時に、火山災害

のリスクを抱えていることも忘れてはなりません。火山の噴火や地震などの自然災害は、私たちの生活に直接影響を及ぼす可能性があるため、事前の備えが重要です。

「火山防災の日」をひとつのきっかけとして、私たち自身の火山災害に対する備えを見直してみよう。登山や観光で活火山を訪れる際には、事前に避難場所や緊急連絡先、火山の活動状況など必要な情報を確認することが大切です。火山災害は決して他人事ではなく、私たち一人ひとりが意識し、行動することで、より安全な環境を築くことができます。ぜひ、8月26日を機に、火山防災について考え、家族や友人と情報を共有し、地域全体での防災意識を高めていきましょう。



気象庁
「火山防災の日」
特設ページ



気象庁
「噴火警報・噴火速報」
ページ

町立金山診療所だより vol.197

ほっとクリニック

大腸がん検診について

消化器内科医師 佐藤 裕人

金山町の皆さん、こんにちは。時々非常勤で外来を担当させていただいております、佐藤と申します。今回は「大腸がん・大腸ポリープ」についてお話しさせていただきます。

大腸がんは、男性ではがんによる死亡の第2位、女性では第1位とされており、毎年約5万人の方が大腸がんで亡くなっていると言われています。主な症状は便秘、腹痛、血便などですが、これらの症状は病気が進行しないと現れないことが多いのが特徴です。では、どうすれば早期に発見できるのでしょうか？皆さんが健康診断などで受ける「便潜血検査」が、大腸がんの一次検診として広く用いられていますが、これを受けるだけで本当に大丈夫でしょうか？

先日、ある患者さんから「大腸カメラはしたくないが、大腸がんが心配なので便潜血検査をしてほしい」と相談されました。結果は陰性で、「これで今後大腸がんにならなくて済む」と安心されたようでした。しかし、これに本当に大丈夫でしょうか？結論はNOです。便潜血検査は、大腸がんを見つけるきっかけとなる有用な検査ではありませんが、陽性だからといって「必ず大腸がんである」とは言えませんし、陰性だからといって「絶対に大腸がんではない」とも言えません。あくまで、大腸がんの表面から出血を拾う検査（痔などを拾うこともある）であり、大腸がんの可能性を見つけるためのスクリーニング検査なのです。そのため、毎年便潜血検査を受けること、そして結果が陽性であれば、必ず大腸カメラによる精密検査を受けることが大切です。大腸ポリープも、放置すると大きくなってしまう可能性があります。早期に発見できれば、大腸カメラによる日帰りの治療だけで完治することも十分に可能です。

ご質問やご意見などございましたら、ぜひお気軽にお知らせください。このコラムが、皆さんの健康維持に少しでもお役に立てれば幸いです。

ーわたしと金山ー

No.29

林 寛治

「金山町マルコの蔵・広場」

現在、国道13号の上台峠から一気に広がる金山町の遠望は、四季それぞれに素晴らしい眺めです。杉の林間を曲がって突然眺望がひろがり、鳥海山から金山三山に続く大パノラマの麓に金山の中心部が静かに佇んでいる風景は絶景です。

私の記憶に残る古い「金山に着いた！」という情景のポイントがいくつかあります。まず、旧道の曲がりくねった峠の山道を下り、上台集落に入った時。次に、山崎集落群の各戸の茅葺屋根の妻側が道路に面し前庭をもって、立ち木の間に規則正しく見えてくることで、今は名所となった「大内宿」のごとくだった。暫く田園が続きます。そして、七日町（柳町）を行くと、「一心堂薬局」が正面に構え、ハイ！ここからが金山中心部ですというサインに皆が感じたと思います。最後に、右折して一歩踏み込むと、七日町通りが一直線に200m弱通り、イチヤマ家と西田家の大屋根の広い妻面が小路を挟んで通りに向かってアイストップの如く七日町通りに向かって正対しています。

七日町通り西側には、小野寺家、星川家・ヤマニ旅館、佐藤家、栗田家・米穀店、の大・中大屋根妻面が南面して立ち並んでいます。今から150年前後以前から、町民建築主と地元棟梁たちの「街並み景観意識」が、中小都市に先駆けて、自然体で無意識に醸成されていたことが伝わります。

七日町から直角東西に走る十日町通りは力ネカ川崎家が常態保存で金山伝統建築の様相をよく伝えております。またマルイ岸家住宅も残されて活用してもらいたい伝統建築です。西田家からマルイ岸家の蔵までの間は七日町の奥に位置して静かな街並み環境が漂います。

西田知人君の遺言で西田寛子夫人が敷地奥の2棟の土蔵を鈴木洋町長時代に金山町に無償寄贈がなされ、林と片山教授とが「金山町・風景と町並景観」の要となる施設として敷地全体を含めた設計委託をうけました。土蔵の旧状では雪害防止のために二重に簡易壁に覆われていましたので、本体の傷みは少なく、傾きも見られなかったことで、残された甲斐がありました。「丸に小」という西田家の屋号からマルコの蔵・ひろば」という町長の命名は秀逸だと思いました。偶然ながらヴェネツィアの中心広場が「サン・マルコ広場」で毎年世界中から何百万もの人々人が訪れて賑わっています。

東蔵は町の紹介を兼ねた物産販売と



▲役場庁舎上部から「マルコの蔵ひろば」を見下ろす。林寛治撮

カフェで2階はオープンギャラリーと奥が小サロンです。西蔵1階はささやかな展示室、2階が街並みづくり展示室になりました。先年、皇太子殿下時代の天皇陛下が吉村県知事のご案内で瞬時お立ち寄りの光栄に与かった旨をうかがいました。金山の素朴さを感じていただいたこと意をありがたくおもいます。

主屋跡の前面空地は畑と緑地として残されていたことは幸いでした。七日町通りと十日町通りの起点となる交差点であり、西南の角地に施設建築物は不要であり、「町民や訪れる人々が自由に交流・活用し資する日本のひろば」を提案しました。私の眼から見て、蔵史館や役場町民ホールの活用の上手で



▲「マルコの蔵ひろば」を通じて東蔵と背後に楯山一部を望む。林寛治撮

は、十分すぎるほど実証済でしたから、回廊を回し水場も設けて、青空市場や、ギター演奏、コーラスグループの青空コンサートなどを、想像・期待しました。ベンチは語り合いの場、昼寝するもよし、食べるもよし、但し、ごみの片付けは各自持ち帰りのルールが必要ですね。夏の陽が落ちてから、動画やスライドの発表会など、広場と回廊は文字通りオープンスペースです。蔵史館・サロンぽすと・マルコの蔵・広場が、町民老若男女が競い合って、活用の幅が広がることを期待します。



東京金山会通信

No.76



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

金山の落花生を首都圏へ！

JR東日本 PRESENTS 「わたしの地元マルシェ～やまがた～」に出店

6月20日から6月22日まで新宿駅構内で開催された、JR東日本 PRESENTS 「わたしの地元マルシェ～やまがた～」に金山町農事組合法人いずむが出店、売場運営はNPO法人MOYAが支援し、地元産の落花生製品を販売しました。

当日は山形県のマスコットキャラ「きてけろくん」や、JR東日本新庄統括センターの応援社員、東京金山会の有志も駆けつけ、町内外が一体となったPR活動となりました。会場では「ピーナッツ」と多くの驚きの声や金山町が株式会社でん六向けのピーナッツの一大供給産地であることを伝えると、「へえー」と関心を持っていただけました。また、お客様からは「味がしっかりしていて美味しい」と多くの声をいただき、それは金山町の土がしっかりとっているからこそだと説明すると、とても納得していただけました。特に人気だったピーナッツペーストとしぼりは早々に完売。試食されたお客様の9割以上が「美味しいと笑顔で話してくださり、売れ行きも好調でした。」

「とても香ばしくて美味しい」「金山町に行ってみた」という声を沢山いただき、町の魅力を伝える貴重な機会となりました。

これからも町・地域団体・関係者が力を合わせ、金山町の味を届けていきます。ご来場・応援くださった皆さま誠にありがとうございました。



①



②

①左から県のマスコットキャラクター「きてけろくん」、NPO法人MOYA いわかわ まゆみ 岩川真由美さん、あおやぎえいし 青柳栄一さん、はんだ かずあき 飯田和昭さん

②来場者に商品の説明をする、いずむ青柳栄一さん(左)

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail : fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

森の子ども図書

No.235



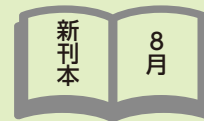
学校ななふしぎ

作：斉藤洋

夜に学校に行つてはいけません。もし行くと…？お馴染みの「学校の怪談」に加え、ギョッとする恐い話から、時にはホッと笑ってしまう話まで暖急自在の展開が、恐いもの見たさの子どもたちを惹きつけます。不気味さと同時にどこかユーモラスな絵も必見。

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで
※祝・盆・正月は休み



※() 内作者名

／今月は6冊！／

しふく弁当ききみみ堂(冬森灯)／サトウさんの友達(益田ミリ)／おだんごどん(ガタロー☆マン)
大人も知らないみのまわり謎大全(ネルノダイスキ)／すいちゃんはいそがしい(てんてん・こどもの視点ラボ)
逃亡者は北へ向かう(柚月裕子)

図書室だより

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

逃亡者は北へ向かう

柚月裕子／新潮社

山形市在住作家・柚月裕子さんが、東日本大震災後を舞台にしたミステリーを随筆。震災直後に殺人を犯し、死刑を覚悟しながらも、ある人物を探すため姿を消した青年。刑事は津波で娘を失いながらも容疑者を追う。実際に震災で家族を失った著者の、今作に込めた思いとは。



サトウさんの友達

益田ミリ／マガジンハウス

職場の居心地、母の健康問題など多くの葛藤を抱えながら日々を送っているサトウさん。ノンテンドースイッチ用ソフト「あつまれどろぶつ」の森に出会って、新しい人間関係を築いていくストーリー。慌ただしい生活に埋もれている小さな幸せに気づかされる一冊。



プロジェクトの成果と今後の展望について



◀映画「ミルクの中のイワナ」

金山町 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊 池田 達哉

皆さんこんにちは。有屋の「いわなや」の事業承継を行っていた協力隊の3年目池田です。

今月のコラムは、過日6月28日・29日に行った全国では2例目、山形県内では、「初」となる在来種のイワナを調査し、金山町イワナ未来地図を制作しようというプロジェクトの結果について報告をします。

今回のプロジェクトの趣旨は、金山川本流を中心に、「黒森沢川」「松ケ沢川」「天狗沢」「タカノセ沢」「大滝上流」「中田春木川」「後川」「外沢川」「上谷川」「入田沢川」に、県内外より30名を超える釣り人を集客し、イワナを釣り、そのイワナのあぶら鰭をカットして、遺伝子解析を行います。その結果から金山町に生息するイワナは古来よりこの地に生息する「貴重な在来種」が見つかるのか、そして、河川環境の在り方、次世代の漁協経営の手法、広くは、人間と川と街づくりについて、考えるというものでした。1日目は、映画「ミルクの中のイワナ」の坂本監督を迎えて、イワナを通じて「種を守る」とはどういうことが、地域社会と環境をいかに保全するのかという講和やワークショップを行いました。2日目は、担当河川ごとにチーム



▶金山イワナ未来地図

を編成して、早朝より各支流の最終堰堤を超えて釣り調査を行いました。内容は、魚の写真、体長測定、あぶら鰭カット、河川状況のレポートです。午後からは、釣りあげたイワナの写真を集め、左に掲載している地図を完成させました。12月に遺伝子解析の結果公表、来年には、調査報告をまとめます。身近なイワナから見える金山町の未来を今後も考えていきます。

最後に、金山町産業課の皆様、金山町漁業組合様、シエネスハイム金山の皆様、神室ヒュッテの皆様にも多大な支援をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。日々の活動は、インスタグラムで配信中です。ぜひご覧ください。

ぶんげい

金山杉俳句会 第五〇一回

夏座敷広々として風が客

阿部 一代

郭公のうたも景なり山の湖
夏めく日公開放送鑑定団

星川 キエ子

紫陽花が見頃迎える寺の街
新緑の香に誘わる散歩道

岸 昭子

窓に風蛙なく声聞く夜かな
大正琴の音に時間を委ねし夏末たる

高橋 洋子

紫陽花に鼻緒の緩む庭草履
すかんばや想ひ出尽きぬ散歩道

鶴沼 よし子

薫風や背に苔厚き狍犬ふたつ
籠蜜昼を閑とし身じろがず

栗田 弥超

かねやま紅風会

夏風や町のシンボル山法師
友と逢ふ一寸おめかし夏の旅
香り立つ乙女心の花牡丹

荒屋 阿部 勝子

過ぎし日を偲び懐かし額の花
若竹の伸びる姿や天高く
年若く花散る定めのおををしむ

荒屋 関 喜美子

梅雨深く雷神の音急ぎ足
風爽か野原を飾るあやめ花
夏至の日や真夏の様な汗ぬぐふ

菅越 庄司 けみ子

梅雨空や遠嶺は暗くかすみそり
忍び寄る病氣気付かず梅雨しめり
三坂山見入る出羽富士夏兆す

七日町 青柳 キエ子

梅雨一日杖が頼りの旅めぐり
老ひの身を観音菩薩に願ふ梅雨
朝な夕な我子育てる夏野菜

上台 阿部 一步



祝祭日には を掲げましょう

金山町町制施行101周年記念企画

かねやま未来図

金山町町制施行100周年を迎え新たな一歩を踏み出した金山町。「金山の未来」をテーマに各地区からご寄稿いただきました。この節目の年に金山町の未来の姿を想像し、共に希望に満ちた地域社会を築いていきましょう。



「きれいな玄関口」は誇りと愛着の証し

山崎地区 区長 佐藤 文雄さん

山崎地区はよく「玄関口」と言われます。植樹祭や育樹祭、国体やこの度の町制施行100周年などの大きな節目では、必ずと言っていいほど我が地区の光景が話題になりました。国道13号沿いに切妻屋根の落ち着いた家並みが続くこの地区には、国旗・町旗が連なり、はためき、訪れる方を歓迎魅了するとともに、誇りと愛着を感じる地域の象徴となってきました。そして7月。ペチュニアが織りなす色鮮やかな「さくら色の花街道」もこの地区の代名詞となりました。「綺麗ですね」と多くの方からお褒めの言葉をいただき、活動を続ける上での励みになっています。確かに過疎化が進み、「あの家も空き家に」と家並みが次第に途切れていく姿から「負」の未来を意識しがちですが、伝統行事「山の神勧進」を繋ぐ子ども達や昼夜を問わず奮闘する消防団、連夜の山車製作に打込む若連衆など、誇りと愛着をもって頑張る姿を見るにつけ、「未来は暗くない」との思いが強くなります。だからこそ、より魅力溢れるきれいな玄関口にしていきたいと思います。

地区：79世帯 239名 ※令和7年6月末時点

親しまれる地区に

荒屋地区 前区長 故 岸 信也さん

荒屋地区では、現在、高規格道路の建設が地区を横断して行われています。地区内では、ボランティアグループ「ゆりかご会」と「老人クラブ」の共同作業により花植えやゴミ拾いなど地道な活動により、荒屋地区の景観が保たれています。また地区内には、新庄地廻り三十三観音のうち第二十五番札所の千手観音堂があり祭礼は、8月17日に行われています。また地区の中心には、山の神様があり、境内には、幹回り4メートルにも及ぶ樅の大木があり昔から荒屋地区の人々の営みを見つめ続けています。人口減少は、荒屋地区も例外ではありませんが地区民だけでなく、他の地域の方々にも気軽にあいさつや声かけが出来る親しみやすい地区作りを心がけたいと思います。

地区：118世帯 232名 ※令和7年6月末時点

生前に頂戴した原稿を掲載しています。7月12日にご逝去された岸前区長の町づくりに対する多大なるご協力とご尽力に心から感謝申し上げますとともに心よりご冥福をお祈りいたします。



「フマ目撃マップ」はコチラ▶



必ず「フマ目撃マップ」を確認し、身の安全を確保してください。

編集
後記

6月上旬頃から金山町内で熊の目撃情報が増加し、イノシシなどによる田畑の被害も増えてきました。山形県では「フマ目撃マップ」を作成し、熊による被害防止を呼びかけています。熊は夜行性のため、夕方から朝にかけて活動が活発になります。特に朝夕に散歩を行っている方は、フマ鈴を持ち歩き、必ず「フマ目撃マップ」を確認し、身の安全を確保してください。

金山町の人口は、4,624人（6月末現在）

	男性	2,277人（-4）
	女性	2,347人（-2）
	世帯数	1,684世帯

▼6月の異動
出生 0人
死亡 7人
転入 4人
転出 3人